

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2025年3月6日

事業所名	StepUP阿田通町教室	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	イベントなど場合によっては狭いと感じることもあるが、活動スペースを区切るなど工夫をしている。	イベントの時に多少狭いように見えるので、利用人数調整や場所の区分けなどを行ってほしい。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員配置は適切であるか。	8	0	正職員で三重チェックをしている。	
	3	生活空間は、子どもがわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	イラストや文字を書き視覚支援として掲示などを行っている。	掲示物等が多く、注意散漫になってしまう可能性があるため、検討してほしい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	色付きマットの位置を変えたり教室内のルールを決めて掲示するなど、子ども達が活動しやすいように工夫している。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	簡隔などを起こした際に落ち着くために、職員と個室に入れるようにしている。	
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8	0	常勤職員を中心に朝礼や昼礼、終礼で反省や今後の対応などを話している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	月に一回、職員会議の場で必ず意見という機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	公開トレーニング等を行い第三者からの評価等を取り入れている。	全職員にしっかりと共有をしておく。
	10	職員の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	月に1度様々な内容の研修を受けており、非常勤職員など参加できない職員にも後日伝達研修として研修を行っている。	
	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	管理者、男児室を中心にその他の職員も命めて支援プログラムを作成し公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	半年に一回アセスメントシートとして保護者様にニーズや課題を記入していただき、それを基に保護者様と面談を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎月、児童の支援会議を必ず行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画書を別紙で準備し、非常勤職員もいつでも見られるようにしている。	
	15	子どもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントはあまり行っていない。	ツールを用いてもアセスメントを行うことを検討してほしい。
	16	児童発達支援計画は、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本宅支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	4	ガイドラインがいつでもくに見られるようにしており、保護者様と話し合いながら本人支援や家族支援等を設定している。	職員でガイドラインの共有をし、多くの意見を話し合っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	困った時は相談、共有をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	運動トレーニングは未就学児の出発点を考慮しながら毎日、毎時異なるトレーニングを常勤職員みんなで回しながら提供している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	強制的にトレーニングに参加させることなく、自発性を促している為職員をマンツーマンで付けて、個別支援も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	常勤職員、非常勤職員みんなで必ず今日の活動の打ち合わせや、気を付ける事など共有を行っている。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8	0	常勤職員は終礼時に1日の振り返りを行っているが、非常勤職員は運動の時間がそれぞれ異なるため、全体ではなく各々で振り返りを共有し、後日全体で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別支援計画書の目標に基づきながら、日々欠かさず支援の記録をとっている。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月支援会議を行い、児童一人に対して少なくとも半年に一度の放課後等サービス計画の見直しを保護者様との面談を通して行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8	0	ケース会議など必要に応じて児発協が参加している。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		対象児童が少ない為、今後はもっと連携を増やしてほしい。
	26	移行時期や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		他事業所との連絡を今年度から増やしているので、継続してほしい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		これまでの児童発達支援事業所での様子や気を付けていることなど、学校と密に連絡をとり情報共有をしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児発達支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外都府に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	4	4	常勤職員は中部療育センターの見学や研修に毎年職員を代えながら参加している。また、その後には伝達研修を全職員参加の会議時に報告している。	常勤職員に限らず、非常勤職員も機会があれば積極的に参加してほしい。
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	0	8		必要としない保護者も多いが、近隣のお祭りなどにイベントとして行く計画なども考えていきたい。
保護者への説明等	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時にその日の児童の様子等を必ずお伝えし、加えて毎週1回週次日報として児童の様子が書いてあるものを冊面でも配布している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)等や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		他施設とも連携を連携しながら、イベント等企画しながら家族支援プログラムを進めていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時にご説明していたが、必ず対面でも約1時間程度時間をとって丁寧に説明をしている。また、変更時も冊面を作成し説明をしている。	
	37	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意向の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の意向を伺っているか。	8	0	保護者様との面談時に「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、同意をえている。保護者様の要望でその場で異なる支援内容に変更することもある。	
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	支援時間以外に外電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。	保護者会等を希望しない方が多いが、家族参加型のイベントを多く企画し、ご家族同士での交流できる場を検討してほしい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	クレーム対応の研修を行い、適切な対応に努めている。困った際は、職員で共有し相談し迅速に対応している。	
	41	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日ブログの更新、毎月連絡の配布を行っている。また、イベントチラシを都度配布し、教室内と教室外に掲示している。	
	42	個人情報取扱いに十分留意しているか。	8	0	研修を行い、ブログなど顔出しのチェックなどは、職員2.3人で行っている。	
	43	防災のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	イラストカードを用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3	5	公開トレーニングを行い近隣事業所や、区役所にチラシを配布し第三者の目が入るように開けた運営をしている。	公開トレーニングの他にも地域の方と一緒にできることを模索していく。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアル等はいつでも見ることのできる場所に置いてある。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	4	年に2回児童と職員が一緒に行う避難訓練を実施し、別でビルー体となって職員のみ避難訓練、避難器具の使い方など定期的に行っている。	職員みんなでBCP作成の話し合いを行い、年度見直しを行ってほしい。
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、たんかん発作等の子どもの状況を把握しているか。	8	0	半年に一度新しく受診したかなどを、紙面と口頭でお聞きしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	6	アレルギーがある児童はおやつなど含め、持ち帰り対応し、保護者様に説明をしている。	必要に応じて、保護者様と連絡をとり医師と連携も検討していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	4	4		安全計画を都度職員で見直し、より良いものを提供してほしい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8	0	サイン欄を設けて全員が確認したことがひと目でわかるようにしている。また、全職員参加の会議で改めて振り返るようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	現在該当者がいないが、身体拘束等の研修や話し合いは行っている。	